



2024年証券アナリスト第1次試験（秋試験）

解答速報！

2024/10/11 現在

科目Ⅱ

（財務分析、コーポレート・ファイナンス）

第1問（30点）

問1 D 問2 A 問3 C 問4 D 問5 C 問6 A 問7 D 問8 A
問9 B 問10 B 問11 A 問12 A 問13 C 問14 B 問15 D

第2問（10点）

問1 E 問2 B 問3 C 問4 C 問5 D

第3問（12点）

I

問1 D 問2 B 問3 A

II

問1 B 問2 E 問3 C

第4問（24点）

(1)

① H ② F ③ D

(2)

④ D ⑤ J ⑥ G

ア B イ A ウ B

(3)

⑦ E ⑧ A

エ C オ B カ E キ C

(4)

⑨ F ⑩ J ⑪ H ⑫ A

ク D ケ D コ D サ E シ E

この解答速報の著作権は TAC（株）に帰属するものであり、無断転載・転用を禁じます。

TAC

第5問（24点）

I

問1 D 問2 C 問3 A 問4 B 問5 B 問6 A 問7 B 問8 B

II

問1 C 問2 D 問3 E 問4 C 問5 A 問6 C

この解答速報の著作権は TAC（株）に帰属するものであり、無断転載・転用を禁じます。

なお、この解答速報は TAC 独自の見解に基づくものであり、正解であることを保証するものではありません。また、後日情報を更新する場合がありますので、ご質問などの受付はいたしかねます。

2024証券アナリスト1次試験（秋）

「科目Ⅱ 財務分析／コーポレート・ファイナンス」

科目Ⅱの出題については、大問5問で構成され、第1問から第4問が財務分析（財務会計と財務諸表分析）、第5問がコーポレート・ファイナンスであった。具体的な内容は、以下のとおりである。

第1問の正誤選択問題は、15問の出題であった。利益情報、会計制度、IFRS、純資産の部、キャッシュ・フロー計算書、減損会計、退職給付会計、税効果会計、外貨換算会計は頻出論点であり、正答が得られやすい内容であった。一方、資産と負債の評価、EBITDAについては、かなり難易度の高い内容であった。

第2問の個別計算問題は、5問の出題であった。包括利益、有価証券、ROEは基本的な内容であったが、収益認識、税効果会計は難問であった。

第3問の総合計算問題は、6問の出題であった。Ⅰ減価償却(3問)、Ⅱ合併会計(3問)について出題された。Ⅰの減価償却については、問2のプロスペクティブ方式に手間取ったかもしれない。問1の200%定率法、問3の定率法から定額法への変更は是非とも得点したいレベルであった。Ⅱの合併会計については、財務データが多かったため、やや戸惑う設定となっていた。ただし、内容自体は、それほど難しくなく、問3においてアナリスト試験では珍しい土地の含み損に引っ掛からなければ完答の期待できるレベルであった。

第4問の分析総合問題は、百分率損益計算書、損益分岐点分析、生産性分析、安全性分析が出題された。資本利益率や資本回転率は出題されず、生産性分析が2024年春試験に続けて出題された。この生産性分析以外は、定番の内容であった。

第5問のコーポレート・ファイナンスは、Ⅰコーポレート・ファイナンス全般（8問）、Ⅱ企業価値評価とリスク管理に関する総合問題（6問）であった。Ⅰのコーポレート・ファイナンス全般については、問3のメイク・オア・バイが細かい論点であった。それ以外の問1、問4、問5、問8は確実に得点したいレベルであり、問2のPPM、問7の投資の意思決定についても選択肢が紛らわしかったものの正答の望める内容であった。Ⅱについては、全体的に近年の出題に類似したものであり、完答が望める内容であった。

以上

TAC証券アナリスト講師室